

# 平成 26 年度事業計画書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(はじめに)

『子供の時代に子供らしい体験を重ねること、四季折々の変化を体で感じながら心を耕していくことは、人間が成長していく上で欠かせない貴重な財産であるに違いない』

この財団設立の理念の基に「子ども自然体験塾」を実施してから早 8 年を経過しました。

今年も引き続き、子供達の健全育成に寄与するために、北海道の豊かな自然と文化を生かし、“自然界の命のつながり”をテーマとした自然体験学習を、子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成金の交付を受け「子ども自然体験塾」の継続実施、更に地域の自然環境を生かした自然体験活動を地域住民と共に実施する「出前子ども自然体験活動」を新規事業として開始します。

更に普及活動の一環として、青山慎一先生の蝶・昆虫の個人コレクション 10 万頭のデジタル化を図り、子供達へ広く情報発信をする「青山慎一先生の子ども世界の昆虫館（仮称）」の開設をします。

1、定款第 4 条第 1 項第 1 号に掲げる事業を次の計画により実施する。

(1) 自然体験活動の主催事業（公益目的事業 1）

ア、子どもゆめ基金助成活動

①活動名 「子ども自然体験塾」

○青山慎一先生の『昆虫』不思議発見！（昆虫塾）

(活動のねらい)

身のまわりの虫たちの多彩なドラマや珍奇な生態、不思議な習性の観察をとおりして、生命の素晴らしさ、自然の素晴らしさを深い感動と共に味わうことにより豊かな感性を育みます。又、自然界における昆虫の果たしている役割や進化の過程を学ぶことにより科学的に物事を考える態度を育てます。

- ・塾 長 青山慎一先生（蝶類愛好家・日本鱗翅学会）
- ・講師・指導者 外部 11 名、財団 3 名
- ・募集人員 子供 30 名×2 回＝延べ 60 名
- ・実施日 7 月 6 日・7 月 27 日
- ・参加費 1,000 円
- ・活動場所 野幌森林公園周辺、自然ふれあい交流館、西岡水源地、  
北方自然教育園
- ・具体的なプログラム
  - ・昆虫、観察・採集
  - ・青山慎一先生のお話「昆虫の自然界における役割」
  - ・昆虫標本作成

○横山武彦先生の『野幌の森』不思議発見！（植物塾）

（活動のねらい）

身近な日常生活の中での自然とのかかわりについて、植物の生き残り戦略の観察をおし、森が育む自然環境や植物の果たしている役割を学び、「自然との共生」の大切さを学びます。又、この活動をとおして、生命のつながりや巧みな自然界の仕組みを発見させ、科学的に物事を育てる態度を育てます。

- ・塾長 横山武彦先生（北海道自然観察協議会）
- ・講師・指導者 外部 13名、財団 3名
- ・募集人員 子供（中学生含む） 20名×2回＝延べ40名  
大人 10名×2回＝延べ20名
- ・実施日 8月17日・9月28日
- ・参加費 1,000円
- ・活動場所 野幌森林公園、自然ふれあい交流館
- ・具体的なプログラム
  - ・野幌の森の自然観察
  - ・年輪観察と二酸化炭素調べ
  - ・種子の観察と標本作成

○森の博士・薄井五郎先生の『森と生き物のつながり探し』（生き物塾）（新規）

（活動のねらい）

昆虫や森の生物を利用して、身を守ったり、花粉や種を広めたりする樹や草にとっては、たくさんの種類の生き物が住んでいると好都合です。そのためには、いろいろな種類の樹や草が生えている森林が望ましいのです。この体験塾で森林の違いにより生息する鳥獣や昆虫の活動が違う様子を体感し、森と生き物とは互いに欠かせないパートナーであることを学習します。

- ・塾長 薄井五郎先生（日本野鳥の会・農学博士）
- ・講師・指導者 外部 11名、財団 3名
- ・募集人員 子供 30名
- ・実施日 10月5日
- ・参加費 500円
- ・活動場所 道民の森
- ・具体的なプログラム
  - ・子孫を増やす術を知ろう
  - ・「森」を見る眼を養おう
  - ・樹を植えよう

○佐藤和利元館長の『オホーツクの海と山』 in 紋別（オホーツク塾）

（活動のねらい）

先史時代や先人（アイヌ）の暮らし方を学び、金山での生活体験者から指導を受け、昔の道具を使った仕事体験や地引網体験、砂金採取体験をしながら、自然からの恩恵を最大限に生かしながら厳しい自然とどう向き合って生活をしてきたのかを学ぶことにより、自然との共生の大切さを子ども達と共に考えます。

又、合宿体験をすることにより協調性や自立心を育み、人間同士の助け合いや思いやりを大切にする自力（みずからりよく）の向上をはかります。尚、日記及び感想文を書かせることにより自分を見つめなおす習慣を身につかせます。

- ・塾長 佐藤和利元館長（考古学者・紋別市立博物館）
- ・講師・指導者 外部 15名、財団 2名
- ・募集人員 子供 32名
- ・実施日 7月31日～8月3日（3泊4日）
- ・参加費 18,500円（札幌発着）
- ・活動場所 オムサロ遺跡公園、ホワイトビーチ、道立流水科学センター、上藻別駅通所、八十土、紋別市立博物館
- ・具体的なプログラム
  - ・古代や昔の仕事体験
  - ・地引網体験と魚や流水学習
  - ・宿泊体験

○事業費	〔総額〕	<u>3,490,685円</u>
	〔収入〕	<u>3,084,000円</u>
	・参加費	667,000円
	・助成金（子どもゆめ基金）	2,417,000円（申請額）
	（財団負担金）	406,685円

○助成金応募先（申請中）

子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

○名義後援（予定）

札幌市・札幌市教育委員会

紋別市・紋別市教育委員会（オホーツク塾のみ）

- 募集範囲 札幌市内及び周辺市町村
- 募集対象 日帰り型 小学3年生から6年生  
合宿型 小学4年生から6年生
- 募集方法 札幌市内小学校、児童館及び当別町小学校へチラシ配布（公募）

## イ、出前自然体験活動（新規）

### ①活動名 「出前子ども自然体験活動」

○守屋 開先生の精進川の水生生物と命のつながり

（ねらい）

精進川に生息する水生生物の採集・観察・分析をとおして、自然界の仕組みや命のつながりについて学び、自然を守る大切さを実感させます。

実施にあたっては地域住民の協力を得ながら行います。

・講師 守屋 開先生（札幌市青少年科学館学芸課専門職、前旭丘高校長、日本生態学会員、日本陸水学会員）

・募集人員 子供 30名程度

・実施日 8/9（土）（雨天の場合は1日順延）

・参加費 無料

・活動場所 精進川流域（中の島）、中の島児童会館（予定）

・具体的なプログラム ①採集 ②観察 ③分析

○事業費 100,000円

○助成金 検討（次年度は子どもゆめ基金の助成金の申請を考える）

○名義後援・協力 （後援）札幌市、札幌市教育委員会 （協力）地域町内会、地域PTA

○募集範囲 中の島地区及びその周辺地域

○募集対象 小学3年から6年生

○募集方法 地域に一任

## ウ、自然体験学習の普及に係る情報発信

### ①青山慎一先生の世界の昆虫館（仮称）（新規）

（ねらい）

私たちの身の回りの自然界には多様な生物が命のつながりもっています。

その中でも昆虫類は現在生存している全動物の80%を占め、名前の付けられているものの数は100万種とも120万種ともいわれています。（昆虫塾テキストから引用）

昆虫塾塾長の青山慎一先生は世界の蝶・昆虫の個人コレクション10万頭を誇る日本有数のコレクターです。青山先生の蝶・昆虫の標本をデジタル化し、情報発信することは子供たちを自然界の不思議へ誘い、新たな興味へと向かわせることにつながり、自然体験活動の普及にとって大変有意義なことであると考えます。

・具体的な活動

青山慎一先生（昆虫塾塾長）の蝶・昆虫の個人コレクション10万頭のデジタル化を図りホームページ上で紹介する。初年度は1万頭程度。

○事業費 486,500円

### ②当財団主催事業の活動紹介

平成22年度から「子ども自然体験塾」の活動の様子をホームページの「活動のようす（スライド）」欄での紹介を継続実施する。

○事業費 0円

以上